

福津市ではSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます

環境掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019 FAX43・9005
E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

感染防止のためのごみの捨て方

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている現在、市民の皆さんも、さまざまな感染防止対策を講じていることと思います。マスクの着用や手洗い、うがいの徹底などが主な予防策ではありますが、可燃ごみを捨てる際にも、以下のような点に注意してください。

- ①捨てた後のごみにはなるべく直接手を触れない
- ②飛散防止のため、収集に出す際にはしっかり袋の取っ手などを縛る
- ③ごみを捨てた後は必ず手を洗う
- ④ペットボトルやプラ容器の弁当がらなどは洗ってから捨てるようにし、なるべく分別収集に出す
- ⑤普段以上にごみの減量に努め、ごみを出す機会を減らす
- ⑥鼻水を拭いた後のティッシュペーパーや唾液が付いたマスクなどは別の袋に入れ、燃やすごみ袋の底の方に入れる

感染症にかかることを防ぐためには、十分、取り扱いに気を付けなければならないごみの捨て方がいくつかあります。一刻も早い新型コロナウイルス感染症の終息のためにも、皆さんのご協力をお願いします。



▲しっかり縛ってから出しましょう

野鳥観察をしてみませんか

秋から冬にかけて、福津市にはさまざまな種類の渡り鳥がやって来ます。特に津屋崎干潟やその周辺の水路、農地などで多く観察できます。

絶滅危惧種のクロツラヘラサギも毎年飛来していて、昨年10月上旬にやって来ました。くちばしから顔にかけて黒く、また、くちばしがヘラのような形をしているのが特徴であることからその名が付けられました。この時期、クロツラヘラサギを一目見ようと干潟を訪れる人もいます。

干潟とその周辺には世界的に個体数が少ないシギ・チドリ類も飛来します。中でもヘラシギはクロツラヘラサギよりも個体数が少なく非常に珍しい種類の鳥です。体が小さく、かわいらしい外見をしています。なかなか見つかりませんが、運が良ければその姿を見られるかもしれません。

この他にも、干潟やその周辺には、カモ類やサギ類、カワウ、ウミウ、ミサゴなど、多種多様な鳥がやってきます。肉眼でも観察できますが、双眼鏡や望遠鏡を通してみると、それぞれの顔つきや羽の模様の違いなども楽しめます。コロナ禍で外出の機会が減る中、感染対策に留意しつつ、手軽に自然を感じられる野鳥観察にこの冬ぜひ行ってください。



▲非常に珍しいヘラシギ (服部卓朗さん撮影)